### 【まい】

は、はかにく（：くまい、すまい、まい、るまい）。「る」と「する」にはそれぞれ、「くるまい／こまい」「するまい／すまい」というつのがあるが、にく「くるまい」「するまい」ののほうがである。については、「ない」は「あるまい」となり、「Nではない」「Naではない」「A－くない」はそれぞれ「Nではあるまい」「Naではあるまい」「A－くあるまい」になる。また、「ます」にいて「ますまい」となることもある。1　…まい　a　V－まい＜＞①はもうとむまい。②あいつにはもうとうまい。③A：とけんかしたんだって？B：そうなんだよ。がでってるのにこうともしないんだ。あいつにはもうもうまいとっているんだ。④いのはもうとみすぎるまいとうが、ついまたみぎてしまう。⑤その、は、とにはうまいとくした。⑥をしませまいとってそのことはらせずにおいた。「…しない」というしのなをす。しことばでは、「V－ないようにしよう」「V－ないつもりだ」がわれる。また⑤のように「…まいとする／う／える」などのでの「…しない」というについてべるのにう。⑥は、「をしませたくないとって…」の。きことばなかたい。b　V－まいとする①をわれまいとしていになった。②はくまいとしてをいしばった。③のをさせまいとするちから、をやめたことはわずにおいた。「…ないでおこうとする」という。きことばなかたい。「…まいとして」のは「して」をくこともある。（）をわれまいといになった。2　…まい＜推量＞①このうれしさはにはわかるまい。②をらすのにするはまずあるまい。③のはまずいあるまい。④いたもくなって、ふるさとにはもうだれもいなくなってしまった。もうとれることもあるまい。⑤こんなをしてもだれもじてはくれまいとって、までっていたのです。⑥をるだけでのをてるなんてなだが、これだけがいるのならまんざらでもあるまい。⑦ならぬさんのですから、もまさかいやとはいますまい。⑧がめてしたには、かぜをひいてはいまいか、でさびしがっていはしまいかとでならなかった。「…ないだろう」という。しのをす。⑦のように、しことばでわれることはまれで、「わないだろう」「わないでしょう」をうのが。⑤のように「とって／とえて」などにくるときはしことばでもいられる。きことばなかたい。3　…でもあるまい　a　Nでもあるまい①をしてさるもあるが、ももう70だ。このになって、いまさらめでもあるまい。②からをておきながら、ごろになって、でもあるまい。、であるというをす。「いまさら／いまごろ、…でもあるまい」のでわれることがく、がすぎてであるということをべるにう。b　Nでもあるまいし①でもあるまいし、のことはでしなさい。②でもあるまいし、アルパイトはやめて、きちんとめなさい。③17や18のでもあるまいし、にられたぐらいで、いつまでもくよくよするのはやめなさい。「Nではないのだから」「Nではないはずだから」という。に「…しなさい」「…してはいけない」など、やのがわれて、したり、したりするにわれることがい。「では／じゃあるまいし」のもある。c　V－ることもあるまい①あんなにひどいいをすることもあるまいに。②あののことで、のがくこともあるまい。③かではりるのだから、わざわざくほどのこともあるまい。そのがであるというなや、そのがであるというをべるにう。きことばなかたいで、しことばでは「V－ることもないだろう」のがよくわれる。4　まいか　a　…ではあるまいか　N／Na（なの）ではあるまいか　A／V　のではあるまいか①はくみえるが、はかなりのなのではあるまいか。②さんはらないふりをしているが、わかっているのではあるまいか。③のがあいついだのには、のに、かがあるのではあるまいか。④へのが、このようなをきこすとなったのではあるまいか。⑤のみをしてきたことは、ののきなではあるまいか。⑥やのためにのみきけるは、よりもがしいのではあるまいか。「…ではないだろうか」という。「Xではあるまいか」は、しが「たぶんXだ」とえていることをすの。　、ナにくには、「N／Naではあるまいか」と「N／Naなのではあるまいか」のつのがある。　③～⑥のように、のにわれたり、をべるで、きにいかけるをとりながら、しのをべるにうことがい。にきことばでわれるかたい。b　V－てくれまいか　V－てもらえまいか①しいからとはわったのだが、なんとかやってもらえまいかともまれてしかたなくきけた。②A：のニューヨークのだが、として、まずにってもらえまいか。B：かしこまりました。をす。なかたいで、しことばでは「V－てくれ／もらえないだろうか」がわれるのが。①のように、「…とまれた／われた」のでにわれることがい。5　V－ようがV－まいが⇾【よう2】4c6　V－ようとV－まいと⇾【よう2】6c(533)

### 【まえ】

1　Nのまえに①のにきなマンションがった。②のにがっていた。③のにをいましょう。④のにのところへくようにわれた。あるいはなをす。①②はNのあるいはにあること、③④はNのよりいことをす。2　V－るまえに①をするにをいましょう。②は、るにくをむことにしている。③をするに、ゆっくりとでもしてみたい。④するには、のにめていました。「XまえにY」のでXのできごとがこるよりにYのできごとがこることをす。ののテンスにかかわらず、「…まえに」のにはがいられる。（）をするにをった。（）をしたにをった。3　Nをまえに（して）①のAはをにだった。②テーブルのののをに、どうしたらいいのか、にくれてしまった。③をにして、たちはしていた。④はをに、をう。あるいはなをす。①②はやにしていること、③④はできごとのであることをす。をすは「…をひかえて」といかえることができる。(536)

### 【まさか】

1　まさか…ないだろう①にはもをしておいたから、まさかれることはないだろう。②いくらいといっても、はまだだ。まさかのがけるようなことはないだろう。③まさかそんなことはないとうがのためにもうべてみよう。④あんなにもしたのだから、まさかすることはあるまい。⑤A：おがりませんが…B：まさかそんなはずはない。⑥A：だれがをもらしたんだろう。B：、まさかをっているんじゃないだろうね。⑦まさか、あなた、あのとするじゃないでしょうね。に「ないだろう」「まい」「はずはない」「わけがない」などのをって、「そんなことはにはこらない、そんなはずはない」とちすちをす。また、⑥⑦のように、「まさか…じゃないだろう／でしょうね」のでわれて、いいをす。2　まさか…とはおもわなかった　まさかNだとはおもわなかった　まさかNaだとはおもわなかった　まさかAとはおもわなかった　まさかVとはおもわなかった①さんがでしているとはいていたが、まさかこんなにいとはわなかった。②まさかができるとはいませんでした。③まさかがあんなをにするとはわなかった。④まさかがこんなにくくなるなんてもしていなかった。⑤まさかこんなになるとはもしていなかった。⑥A：はだったよ。B：まさか。「とはわなかった」「とはらなかった」などのをって、しないことがじたことにするきのちをす。しことばでは、⑥のように「まさか」だけでわれることもい。3　まさか＋否定表現①A：あんなをするなんて、あいつはじゃないか。もっときつくったほうがいいんじゃないですか。B：まさかにとかって「ばか」ともえないじゃないか。②いくらけてやりたくても、まさかテストのえをえるわけにもいかないし、でってもらうしかない。をす「V－れる」のや「ともいえない」「わけにもいかない」などのをって、なをげて、にはそんなことはできないが、しがそうしたいぐらいのちでいることをす。4　まさかのN①にはがあるが、のことをえてまさかののためににっている。②まさかのは、ここにしてください。「の、の」という。(536)

### 【まさに】に

きことばなかたいで、しことばにわれるとげさなじがする。1　まさに①にけられていたのは、まさにがなくしただった。②そのはのをいたものとしてで、そのにはまさにるものがある。③≪≫にしました。④A：のはっきりしないが、アジアとのをさせているのではないか。B：まさにそのとおりだ。⑤この、「リゾート」をれたは113をえた。のSは「きのまさにリゾートでした。」とほくほくだった。「かに」「に」というをす。2　まさに…　V－ようとしている（ところだ）①がした、はまさにまろうとしているところだった。②≪テレビ≫まさにのオリンピックがまろうとしております。③ハイジャックのをのせたはがする、まさにびとうとしている。④らがにした、はまさにきださんとするところだった。「にもわれようとするところだ」「ちょうど、まるところだ」のをす。かたいいでは④のように「V－んとしている」とうこともある。(538)

### 【まじき】

⇾【あるまじき…だ】

### 【まして】

1　まして（や）①のをめて3になるが、まだをむのもしい。ましてなどはとてもめない。②このりはでもりがない。ましてともなると、くてではけない。③でもできただ。ましてのようななにできないはずはない。④のはにしい。まして、のともなれば、されたのきは、いかばかりであろうか。「Xは　…ましてYは…」あるいは「Xでも…ましてYは…」のでよくわれる。XとXよりのいYをべて、「Xでもそうだから、Yはもっとそうだ、もちろんそうだ」というをす。「ましてや」はきことばな、ややかたい。2　Nにもまして①のはい。しかし、ささにもましてえがたいのは、のさだ。②にいいだった。のしさはもちろんだが、それにもましてがすばらしかった。③はもともとまじめでよくくだが、どもがまれてからというもの、にもましてよくくようになった。④にもましてうれしかったのは、のと10ぶりにできたことだった。「Xにもまして…なのはYだ」「XにもましてYが…」などのでいられ、「Xはもちろん－だが、Yはもっと…」というをす。Xとすることで、Yののさをする。③のように、「にもまして」「にもまして」のでわれると「よりもいっそう、もっと」のとなる。④の「にもまして」は、「よりも」「も」の。(538)

### 【まず】

1　まず①まずはじめに、のをおらせいたします。②≪の≫にみなさんのごをおいしたいといます。では、まずさんからおいします。③のはいらしいから、ボーナスがったら、まずクーラーをおうとっている。④のとして、まずとがげられる。⑤そののをるには、まずからだ。「に」「に」のをす。④⑤は「のものはさておき」の。2　まずは①まずはした。②≪≫まずはごまで。③≪≫りぎ、まずはおまで。④≪≫まずはのみにて、いたします。「にではないが、は」「ではないがとりあえず」というをす。①は「まずはほっとした」「まずはよかった」などまったいで「なにはともあれ」「とにかく」などといかえられる。②～④はのびにう。3　まずかん…だろう／…まい①：もう、のにってもでしょうか。：そうですね。さえしなければ、まずでしょう。②はにあるから、りなくなることはまずないだろう。③のはまずいあるまい。④このではまずかるまい。⑤このにするはまずいない。⑥が「だめだ」とったら、もうはないとってまずいない。「…だろう」「…まい」などとにいられて、しのがかなりかであることをす。「まず…まい」は「まず…ないだろう」ので、きことばなかたい。⑤⑥のように「…だろう」をわないは、さらにいをったがされる。(539)

### 【また】

1　また　a　また＜りし＞①また、がちたらしい。②じをまたえた。③A：すみません。の、ませていただきたいのですが。B：またですか。もんだでしょう。④A：さようなら、またてくださいね。B：うございます。また、おじゃまします。⑤≪のわりに≫では、また。⑥A：じゃ、また。B：じゃあね。じことがりしておきるをす。④～⑥のように、れるときのとしてもわれる。b　また＜＞①は、でできる。また、きなでもしている。②10からのが20％げされる。また、、も4にげをしている。③≪テレビのこユースで≫、はがになっております。また、はがとなっております。④≪テレビのニュースで≫のは、10とまりました。また、はがめます。にべたことがらにして、さらにやのことがらをけえるときにう。c　また＜＞①はきであり、またきでもある。②このはおもしろく、またためになる。③はにいし、また、のにもなる。「その、それに」という。のことがらをするのにう。「また…も」のでうことがい。d　また＜＞①してもよい。また、しなくてもよい。②かのインクでくこと。また、ワープロのも。「つのうちどちらか」という。「また…も」のでうことがい。2　…もまた　Nもまた　Naなのもまた　A／V　のもまた①でのキャンプはもガスもないが、なのもまたしい。②いのもるがいのもまたたいへんだ。③れたのはしい。しかし、にぬれながらくのもまたがあっていいものだ。④といえども、もまたのだ。うれしいときもあればしいときもある。「じように」という。①～③のように、にべられたこととであることをす。④は、「であるも、のとじである」という。3　…また①いったいまたどうしてそんなことを。②どうしてまた、こんなことになったのだろうか。③しかしよくまた、こんなことができたものだ。④これはまたきれいなですね。「いったい」「どうして」「これは」などととともにわれて、しがいたりにっているちをす。4　またのN①またのおしをおちしております。②きょうはしいので、このはまたのにおいします。③はだが、またのをといってなでもある。「この」「の」という。①も②もなしたで、「またの／チャンス／とき／／」など、いっしょにえるはられている。③の「またのを…という」は「のは…である」という。5　NまたN①は、またのにんでった。②またでむもない。③またでくこともできない。じをりして、じがなっているやじことがくをす。(540)

### 【まだ】

1　まだ…ない①A：ごは、もうべましたか。B：いいえ、まだべていません。②A：このは、もうみましたか。B：いいえ、まだです。③のは、まだわかっていない。④：おさん、ごまだ？：もうちょっとってね。⑤はまだよくならない。⑥そのはまだがこったのかわからなかった。⑦には、まだもったことがない。されたことが、までわれていないやしていないをす。「もう…ましたか」というにしてののえは、「いいえ、まだ－ていません」というをうことがい。「いいえ、まだです」ともえる。「いいえ、まだ…ません」とすると「そのつもりはない」というにされとなるがある。（）A：ごはんはもうべましたか。B：いいえ、まだべません。2　まだ＜からの＞①A：はをしているの？B：おねえちゃんは、まだをしているよ。②もうになるのに、とはまだけんかをしている。③どものにきながあった。あののことは、でもまだはっきりとえている。④になっても、のはまだをけている。⑤A：、みんなでにったことがあったね。B：ああ、まだおじいさんがきていたころだね。⑥とって、60といってもまだい。⑦9なのにまだい。⑧さなえちゃんはそうなことをってても、まだだねえ。⑨まだなのにをんではいけない。「まだV－ている」のでうことがく、じがずっといているをす。⑤は、「まだVていた」ので、はうがのあるではそのがいていたということをす。「　はいないけれど、そのころはきていた」というになる。⑦～⑨は、もとじにとどまっていて、るはずののにしていないことをしている。（7）は「もうもわつてしくなっていいなのに、そうなっていない」、⑧は「にっていない」、⑨は「おがゆるされるにしていない」という。3　まだ＜未果への継続＞①これから、まだもっとくなる。②は、まだ、くだろう。③はまだよくならないとわれる。④まだこのはがりする。⑤まだまだこれからがですよ。のがこれからもくをす。「まだまだ」をうと、「さらにもっと」「もっともっと」というになり、がもっとくなることや、いくことをす。②のように、「、」「」などはっきりしたをすがあるには、「まだまだ」はえない。4　まだ…ある①までには、まだがある。②まで、まだ20キロはある。③はまだほどっている？④まだにもしたいことがある。ものやなどがっているをす。5　まだ＜経過＞①まだしかたっていない。②にきて、まだだ。③まだ10ほどしかしていないのに、もうくなってきた。④からまだにしかならないのに、のはめざましい。⑤もうかとおもったが、まだ3だ。をすとにいて、あるできごとからわずかしかがたっていないをするにう。6　まだ＜比較＞①もかかって、いレポートをかされるよりは、ですむのがまだいい。②はみんないだが、よりものが、まだましだ。③A：ああ、いやだ。が5つもある。B：なんか、まだましなだよ。なんか、11もあるよ。④のでももなくしたが、があっただけ、まだわれる。「まだいい」「まだましだ」などのでわれて、どちらもくないが、よりしはよいというをす。(542)

### 【またしても】

①またしてものがこった。②またしてもあいつにしてやられた。③≪ので≫、またしてもホームランをちました。じことがけてきたりりされたりしたことを、しがきをこめてべるにいる。①②のように、いできごとについてうことがい。「また」をしたいであるが、かたいじがするのできことばやテレビ、ラジオなどのニュースやなどにわれることがい。のしことばでは「また」のほうがよくわれる。(544)

### 【または】

NまたはN①かのペンまたはえんぴつでいてください。②13までにするようにするか、または、してください。③400めにき、またはA4のにワープロでつこと。つのうちどちらでもよいことをす。①は「ペンでもいいし、えんぴつでもかまわない」②は「するか、するか、どちらか」というになる。きことばなで、するようなによくわれる。(544)

### 【またもや】

①またもや、がした。②またもやなミスによるがきたことは、できないである。③またもや、がした。「また、またしても」の。じことがけておきたことをす。しいじのするで、「また」「またしても」のほうがよくわれる。「またも」ともう。きことば。(544)

### 【まったく】く

1　まったく…ない①きのうのクラスはまったくおもしろくなかった。②はではまったくをしない。③このくがっていない。④そののフォームはくのつけようのないしさだ。⑤そのバイオリニストのアルバムは、デビューアルバムとしてはくしのないである。のをするのにいる。「ぜんぜん」「しも」「ちっとも」などよりかたいい。「のつけようがない」「しがない」「のちがない」などをめるときには「まったく」のはいにくい。2　まったく①これとこれはまったくじものです。②それとこれとはまったくちがうだ。③まったくいやなだなあ。④またおわすれたの？まったくこまったね。⑤A：うっとうしいだね。B：まったくだ。⑥きのうのはくすばらしいものだった。をするのにいる。⑤はのったことにするのちをくすのにう。(544)

### 【まで】

1　NからNまで①シンポジウムは1から3まで3でいます。②A：からまでどのくらいかかりますか。B：なら3ぐらい③≪ホテルで≫A：シングルでいくらですか。B：シングルのおは、7500から12000までとなっております。④の25から35までんでおいてください。⑤このは、からおりまでごみんなでしんでけます。⑥A：みはまでですか。B：1までです。や・をすなどとともにわれて、をす。をうがないときには「Nまで」だけでいられる。2　Nまで＜目的地＞①バスにらずにまでいてくことにした。②までりましょう。③まできます。④がくてこうまでげそうもない。⑤のは、がてらのまでってみた。⑥A：にはどうやってったらいいですか。B：そうですねえ、でまでって、にるのがいといますよ。⑦わからないことがありましたら、までおたずねさい。「く、る、く、る、ぐ」などのとともにわれて、のわるをす。「く、る、ぐ」などのは、「に」や「へ」にはかないが、「まで」とはいっしょにうことができる。（）までりましょう。（）｛に／へ｝りましょう。（）まできます。（）｛に／へ｝きます。（）こうまでいだ。（）こう｛に／へ｝いだ。また、のでわかるように、「まで」は、いているのしたをすので、につのをとることはできない。（）イタリアではローマとミラノ｛に／へ｝った。（）イタリアではローマとミラノまでった。⑦は、「に」とじであるが、まったじがする。3　…まで＜時間＞　a　Nまで①3までします。②きのうはまでんでいた。③はなまけもので、はもちろんのでも、たいてい11までている。④ついこのあいだまでセーターをていたのに、このにかくなった。⑤はぬまでがはっきりしていた。をすにいて、「まで」でされるに、ずっとやがいていることをす。ろには、やのをすをう。のをすをうことはできない。（）5までします。（）5までにします。「まで」と「までに」のいについては、「までに」のを。b　V－るまで①あなたがってくるまで、いつまでもっています。②がいいとうまでをつぶっていてください。③さんはしてするまで、にめていたそうだ。④≪がに≫もうしかくなるまではしないほうがいいでしょう。⑤さんがをめるなんて、さんにくまでりませんでした。⑥がやわらかくなるまで、でます。をすにいて、そのがこるにじやがずっとくことをす。⑥は、をするなどによくわれるで、でて、がやわらかくなったでるのをめるようしている。4　…まで＜程度＞　a　Nまで①はばかりか、いいをしたおとなまでマンガをんでいる。②きみまでそんなことをうのか。③していたまでが、をった。④にまでばかにされている。⑤そんなつまらないものまでうんですか。⑥ちぶれたには、までがたい。⑦だんだんくなってるのにさがしているはつからない。その、までってきた。⑧はいいことばかりだ。しいにっしたし、もまれた。その、くじまでたった。⑨にもいはあるが、そこまでわれたら、ってはいられない。⑩にってみまでするようになった。「えられるはもちろん、ではえられないにまでんでいること」をしがきをめてべる。①をにあげると、「ふつうマンガはがむものであるが、はだけではなくて、もんでいる」という。⑦は、「くなってくるだけでもくないのに、そのもってるというもっといがなった」、⑧は、にいことのにもっといことがなったということをしている。④の「にまで」のように、「＋＋まで」のになることもある。b　V－るまでになる①のあって、やっとでがけるまでになった。②されていたひなはこいひとりでがとれるまでにした。③リハビリの、ひじをげられるまでになった。「なる」のに「する・つ・する・する」などをすようなとともにわれる。いやをかけて、の・にいたったことをす。「してのい・にした」ことをすによくわれる。c　V－るまで（のこと）もない①こののなら、にくまでのこともない。うまいものをべて、ぐっすりればる。②そののならわざわざくまでもない。でじゅうぶんだ。③さんよくのことですから、わざわざするまでもないでしょう。④めてごするまでもありませんが、はになでいらっしゃいます。⑤は、のはうまでもなく、のとしてたいへんであります。⑥の、がにしていたをちだしてなくしてしまったことがある。でひどくられたことはうまでもない。「…するがない」という。①②のように、「がいので…するはない／しなくてもだ」、③～⑤のように、「のことであるので、…するがない」というにう。⑥は、「でもちろんられた」というになる。d　…までして　［Nまでして　V－てまで①ほしいものはあるがもまでしていたいとはわない。②までしてがんばったのに、テストでいいがれなかった。③がまでしてりたかったというのはだろう。④は、だちをしてまで、したいのだろうか。⑤をしてまで、のにしいをつくるはない。＠なことをすにいて、「それほどのことをして」というをす。①④⑤のように、のためにはをばないようなやりをするにいる。「－するために、そんなをとるのはよくない」「（は）…するためにそんなはいたくない」というでよくわれる。また、②③のように「にした」「たいへんなをはらってをしようとした」というでう。5　…までだ　a　V－るまでくのこと）だ①があくまでするなら、をるまでのことだ。②もしにしても、はあきらめない。もうがんばるまでのことだ。「のがだめでもすることはない、のをとる」というしのをす。b　V－たまで（のこと）だ①そんなにることはない。のことをったまでだ。②：どうしてたちにするのなんかしたんですか。：かれたからえたまでで、にいはないよ。「しがそのようなをしたのは、にそれだけのではない」というをす。c　これ／それ　までだ①いくらおをめても、んでしまえばそれまでだから、きているうちにしんだがいい。②がよかったとってしまえばそれまでだが、があのさでしたのはそれなりのがある。③もはや、これまでだ。「Vば、それまでだ」というでわれて、「それでおわりだ」というをす．また③ぼでのにったときにいる。6　V－ないまでも①びはしないまでも、いやがりはしないだろう。②とはわないまでも、ベスト4ぐらいはねらいたい。⇾【ないまでも】(545)

### 【までに】

Nまでに　V－るまでに①レポートはのまでにしてさい。②までにえばよろしいですか。③までにこのをませてしまいたい。④みがわるまでにこのをんでしまいたい。をすやをすにいて、のやをす。ろにはやをすをって、そののあるにやがわれることがされる。「－まで…する」はやが「あるまで」ずっとくことをすが、「…までに…する」のはではなく、あるのをす。したがって、「…までに」のではろにをすをいることができない。（）5までにここでっています。（）5までここでっています。また、をすとはに、などにわれるなで、「までに」というがある。これは「のために」「になるかもしれませんので」というでいられる。（）ごまでにをおりします。(549)

### 【まま】

しことばでは「まんま」ともう。1　…ままだ　Nのままだ　Naなままだ　A一いままだ　V－たままだ①10ぶりにったが、はのままだった。②テーブルのは、かけたのままだった。③このあたりはもされず、とわらず、なままだ。④のにをってやったが、あまりわないのか、いつまでもしいままだ。⑤には、りたままだ。⑥は、からずっとをんだままだ。⑦はごろににかけたままだ。⑧のはでれたままだ。⑨はんでいて、からまでずっとったままだった。⑩はずっとうついたままだった。じがわらずにくことをす。①～④のように、、ナ、イにいて、のあるのがまでわらずにいていることをす。また、⑤～⑩のようにのタにいて、「V－た」でされたがした、じがずっといていることをす。ならば、きいてわれることがまだわれていないにわれることがい。えば、⑤は「りて、まだしていない」⑥は「まだにでてこない」ことをしている。2　…まま（で）　Nのまま（で）　Naなまま（で）　A－いまま（で）　V－たまま（で）①のトマトは、たりしないでのままべたがうまい。②：におれしましょうか。：いや、そのままでけっこうです。③をとっても、きれいなままでいたい。④はあたためてむがいが、はたいままでむのがきだ。⑤をはいたままにらないでさい。⑥クーラーをつけたままるとをひきますよ。⑦ストープをさないままにてしまった。⑧にをでたままがわからない。⑨いでいたので、さよならもわないまま、ってきてしまった。⑩のでとはずっとがとれなかった。は、がしたこともらないままくなった。「せずにじで」というをす。①～④のように、のをえない、あるいはわらないこと、⑤～⑩のようにのタやにいて、「そので…する」というをす。なをすがわれて、そのがいたで、のやがわれるというにう。つののはじでなければならない。（）はこんでいて、さんはったまま、はすわっていた。（）はこんでいて、さんはったままだったが、はすわっていた。（）がっているまま、はのとしていた。（）をたせたまま、はのとしていた。3　…まま（に）　a　V－るまま（に）①のくまま、のくまま、ふらりとにた。②のくままに、をはしらせた。③あなたのうまま、にをててください。「なりゆきにまかせて、きなように」というをす。「のくまま」「のくまま」など、われるはくない。b　V－られるまま（に）①のにわれるままに、をした。②は、にされるままにしていただけだ。③はにされるままにをしていたようだ。だれかののやにって、いなりになるをす。「V－られるがままに」のでもわれる。c　…ままに　なる／する　V－たままに　なる／する①いのでドアはあけたままにしておいてください。②はだんだんくなってきている。このままにしておいてはいけない。③をって、はしみにうちひしがれている。は、そっとこのままにしておいたがいい。④がついたままになっていた。⑤あの、ドアはこわれたままになっている。「えないでじがく／ける」というをす。①～③の「V－たままにしておく」「このままにしておく」は、なんらかので、しがわざとそのをえないでおく、④⑤「V－たままになっている」は、そのままのでされているという。4　V－たままを①たままをしてください。②なく、ったままをってください。③さんにいたままをえただけです。をえずに、そのりにという。この、「じたまま、たまま、いたまま」などがわれる。5　…がまま　V－る／V－られる　がまま①われるがままに、はんこをしてしまった。②なぐられても、けられても、はされるがままになっていた。③あるがままのをてもらいたい。にしたで、をえずにっているをす。①②は「V－られるまま（に）」とじで、①は「われたりに」、②は「されるままになってしなかった」という、③は「かざらないそのままのを」という。(549)

### 【まみれ】

Nまみれ①たちはまみれになってもにせずにんでいる。②あのはもっておかれたので、ほこりまみれだ。③にはまみれのナイフがされていた。いものがにいているをす。「Nまみれになる」「Nまみれだ」「Nまみれの」というでいる。「まみれ」「ほこりまみれ」「まみれ」「まみれ」など、られたにしかいない。(552)

### 【まもなく】

1　まもなく①≪のアナウンス≫まもなくがまいります。②≪のアナウンス≫まもなくです。のほうにおりください。③もわりにづき、まもなくしいみがやってる。のことがきるまでわずかのしかないをす。「すぐに」よりややあらたまったい。2　V－ると／V－て　まもなく①はしてまもなく、のについてアメリカヘってしまった。②にばれてまもなく、みちこはのあかちゃんをした。③をやめてまもなく、さんはをした。④があけるとまもなくたちがきめる。ろにもをすをけて、「はじめのことがきてからしして、のある、のことがこる」という、のをすのにいられる。よくたに、「V－てすぐ」がある。「V－てすぐ」は、つのことがらがきいてすぐにおきたにうが、「V－るとまもなく／V－てまもなく」は、それほどしておらず、「しがたって／しばらくしてからのことがおきる」にう。(552)

### 【まるで】

1　まるで①はがくて、まるでみたいだ。②あんなつまらないことでりだすなんて、まるでみたいだ。③は、をけるのことを、まるでのことのようにしている。④きのうあんなにきながあったのに、はまるでもなかったかのようにをりしていた。⑤にもかかわらず、はまるでもなかったかのごとくっている。「まるで－ようだ／みたいだ」、「まるで…かのように／かのごとく」というでう。あるをのにたとえたり、つをべて「にはうが、たいへんい」ことをす。「らしい」といっしょにうことはない。（）あのは、まるでらしいです。（）あのは｛たいへん／とても｝らしいです。2　まるで…ない①ははまるでだめなんです。②うちのはまるでていない。③いくらができても、ののりのことがまるでできないようでは、のおとなとはえない。④あいつのやりはまるでなってない。⑤みんなのでは、ずいぶんなのようにえたが、にってみると、いていたのとはまるでっていた。やなをすをって、「ぜんぜん…ない」「まったく…ない」というをす。④は「ぜんぜんだめだ」という。(553)

### 【まわる】

R－まわる①このいのにはをりっている。②がスイカがべたいというので、スイカをめて12のをけずりった。③れっジャーナリストのはをびっている。④はにいかけられて、をげまわった。「く」「る」「ぶ」「ぐ」などをすや、「れる」「ぶ」「ねる」などのきをすといっしょにわれて、「あちこち…する」「そのあたりを…する」というをす。(553)

### 【まんざら】

1　まんざら…でもない　まんざら…ではない①のことはまんざららないわけでもない。②は、をしていたことがあるから、でしゃべるのはまんざらでもない。③ののでうのは、まんざらいでもない。④のでは、まんざらがいでもないようだ。⑤おれもまんざらてたものではない。「ずしもXというわけでもない」「まったくXでもない」というをす。Xにはやながはいる。③④は、「それほどいやでもない、むしろきだ」、⑤ぼなで、「なかなかいところがある」という。2　まんざらでもない①のことをほめられてはまんざらでもないようすだった。②まんざらでもないをしていた。③おだとわかっていても、がいたをほめられるのはまんざらでもない。④でこそみんなれてしまったが、のころののはまんざらでもなかった。「くないちだ。むしろ、うれしい」というをす。「まんざらでもない／ふう／みたい／ようだ」「まんざらでもない（という）をしている」などのがよくわれる。また、④のように、「くない。むしろ、かなりいである」というをす。(554)

### 【まんまと】

①やつにまんまとされた。②まんまと、してやられた。③まんまとくわされた。④は、をだましることにまんまとした。「にうまく」「みごとに」の。「まんまと」のには「す」「してやる」「くわせる」「びむ」などにしたものがよくわれる。のをかいたり、したりしてしたようなや、あまりほめられないようなをってうまくいったにわれる。①～③のように、「まんまとV－された」のでわれると、しのしいちやそののみごとさにくちがされる。(554)

### 【みえる】える

1　…がみえる　Nがみえる　NがV－るのがみえる　NがV－ているのがみえる　NがV－るところがみえる　NがV－ているところがみえる①れたには、ここからがよくえる。②はがきれいなのでがよくえる。③こののから、がるのがよくえる。④こののから、がでんでいるのがえる。⑤ちょうどそのとき、からだれかがてくるところがえました。⑥の、のから、ののがえた。⑦はまれつきがえない。⑧がいので、めがねがないとくのはえない。⑨のがさくてえません。にしてようとっているわけではないが、「ににはいる」「ることができる」というをす。「えない」は、にがあったり、がある、すぎるなどので「ることができない」ことをす。「みられる」も「ることができる」というであるが、こちらはにににるということではなく、「ることがされている」「るがある」などのとなる。したがってののように、るがあるかどうかをにしているようなには、「みえる」をうことはできない。（）A：をたいんですが、どこへけばられますか。B：そりゃ、でしょうね。（）をたいんですが、どこへけばえますか。（）では、やとんぽがにられなくなった。（）では、やとんぼがにえなくなった。2　みえる　a　Nがみえる①ののには、のがえる。②にはまったくのがえない。③のには、がしていたがあちこちにえる。④がをっていることは、のにえる。「そうめられる」「そのことがわかる」「そのようにじられる」というをす。b　…が…みえる　…が　N／Na　にみえる　…が　A－くみえる　…が　V－てみえる①のしみがのにえる。②あのはがくて、とてもにはえない。③はのがいいらしく、よりずっとにえる。④あのは、のよりずっとくえる。⑤みんなにされて、のはいっそういてえた。しがたことからして、「そのようにわれる」「そうじられる」というをす。のc「…そうにみえる」d「－ようにみえる」のでもわれる。c　…そうにみえる　Naそうにみえる　A－そうにみえる　R－そうにみえる①にパセリかなにかのものをえるとおいしそうにえる。②このはにもきだしそうにえる。③そののさんは、なんだかしそうにえた。④このははじめそうにえたが、やってみるとなかなかたいへんだ。⑤あいつはやさしそうにえるがたいところのあるだ。⑥このごろのは、いろいろながついていてそうにえるが、にはいらないものばかりだ。しがたことからして、「そのようにわれる」「そうじられる」というをす。④～⑥のように、「はそのようにえるが、のことはわからない」「はちがう」というをすのにわれることもい。d　…ようにみえる　Nのようにみえる　Naなようにみえる　A－ようにみえる　Vようにみえる①このはののようにえるところから、キャッツアイというがついている。②みのに、たちはにしたようにえる。③なようにえたのでってみたが、ってみるとたいしたことはなかった。④はしているようにえるが、のところはわからない。⑤はもらないといったが、かをしているようにえた。しがたことからして、「そのようにわれる」「そうじられる」というをす。①は「のににているので」という。③／～⑤のように、「はそのようにえるが、のことはわからない」「はちがう」ことをすのにもよくわれる。e　…とみえる①すぐにをしないところをみると、さんはあまりがまないとみえる。②そのはおもちゃをってもらったのがよほどうれしかったとみえて、ているもさなかった。③はたいへんいたとみえて、しばらくをきかなかった。④は、まだみりないとみえて、しきりにもうこうとう。しがたことからして、「そのようにじられる」「そうわれる」というをす。しことばにもわれるが、どちらかというときことばな。しことばでは、「みたいだ」「らしい」のほうがよくわれる。f　…かにみえる　…かのようにみえる①はのなどまったくにしていないかにみえる。②きのうあんながあったのに、はかでごともなかったかにみえる。③のはおさまったかにみえるが、まだまだはできない。④そのは、そのまますんなりとをするかにみえたが、でされるというなをえた。「にはそのようにじられる、われる」というをす。「のことはわからないが、にはそのようにえる／にはそうでないがある」ということをべるにわれる。④のように、「かにみえたが」のでわれたには、「そのようにわれたが、にはとうことがおきた」という。きことばなかたいQしことばでは、「ようにみえる」「みたいにみえる」をう。3　Nがみえる①あなた、さんがえましたよ。②、さんがにえた。③のパーティーには、さんもえるはずだ。④A：だれかましたか。B：はどなたもえませんでした。「る」の。「いらっしゃる」「おいでになる」とじ。さらにないに「…がおえになる」がある。(554)

### 【みこみ】み

1　…みこみがある　Nのみこみがある　V－るみこみがある①A：、このはもうらないんでしょうか。B：ですが、のみはほとんどありません。②もうもがいている。がされているが、いうちにがるみはまったくない。③A：このあたりにのができるというのは、どのみのあるなんですか。B：さあ、どうなんでしょうね。④はいつもばかりっている。あんなやつは、みがない。「そのがある」「その、である」などのをす。をするときは「…みのあるN」のでわれる。③のように、かららかなには、「みこみがある」だけでわれて、はされる。に④のように、について「みがある／ない」とうときには、「がある／ない」というになる。2　…みこみだ　Nのみこみだ　V－るみこみだ①≪ニュース≫JRは、6にはするみです。②≪≫JRは、6にはのみ。③のでのダイヤはたいへんれております。はくになるみです。④≪≫00331み。「…だ」「－しだ」という。④は、をくときのまったで、「」にじ。きことばなかたい。きことばにはアナウンスやニュースでわれることがい。3　みこみがたつ①やっと、ののみがった。②≪アナウンス≫ほど、JRでがあったもようです。のところ、のみはっておりません。「、がつ」という。②は「いつするか、まだわからない」という。4　みこみちがいだ／みこみはずれだ①にはいにしていたが、まったくのみいだった。②はで、クーラーなどのはさっぱりれなかった。をしていたのに、みはずれだった。「みこみちがいだった」「みこみはずれだつた」のようにでうことがく、「とった」「りにならなかった」というをす。「みこみがはずれた」ともう。(557)

### 【みこんで】んで

…をみこんで　Nをみこんで　V－るのをみこんで①をんでむのだが、ぜひのにしてほしい。②をとんでみたいことがある。③までにがかかるなどは、のをんで、のあるをんでおいたがよい。④には、はじめかられるのをんだがつけてある。「…をして」「…をして」という。①②のように、そののをくして、りっぱなをしてくれるだろうとしていることをす。また、③④のように「そのことをはじめからにいれて」「もって、しておく」こと。(559)

### 【みせる】せる

1　…をみせる　NがNに…をみせる①はだちにアルバムをみせた。②にって、にをっているところをせてもらうことになった。③そのはうまくがけるようになったのをにせたくてしかたがないようだった。④とれてがなかったも、やっとをせるようになった。⑤9にって、さすがのもえをみせるようになった。⑥がいたのであちこちのにせたが、はわからなかった。①～③は、にみえるようにするという。④は、のやなどをやにすこと。⑤は）はのがじられるという。⑥の「にみせる」は、にしてもらうことをす。2　かおをみせる　すがたをみせる①このごろはちっともにをせない。②しぶりだね。たまにはをせてくれよ。③8ごろになって、やっとが　のれからをせた。④8ごろになって、やっとがをせた。「がる」、あるいは「までえなかったものがえるになる」というをす。3　Nが…を…みせる　Nが…をNaにみせる　Nが…をA－くみせる　Nが…をV－ようにみせる①やかながをよ②るいライトがをいっそうきれいにせている。③ショートカットのがいっそうをにせている。④るいがをにみせている。にいて、そこでされるものがとなって、るにそのようにじさせるというをす。4　…ようにみせる　Nのようにみせる　Naなようにみせる　A－いようにみせる　Vようにみせる①は、わざとドアをしてからしたようにせている。②かけたようにせて、はのにれていた。③はのをあまりにしていないようにせてはいるが、はでたまらないのだ。はうのに、そうえるようにしているというをす。5　V－てみせる⇾【てみせる】(559)

### 【みたいだ】

N／Na／A／V　みたいだ　おもにしことばでう。くときにもわれるが、かなりくだけたで、かたいやまったでは「ようだ」がわれる。「ようだ」をったなは「みたいだ」でいかえにくい。1　…みたい＜比況＞　よくたものをにあげて、ものごとの・・・のなどをすにう。「よう」とじ。によくていることをするには、「まるで／ちょうど…みたい」がわれる。「あたかも」「いかにも」「さながら」は、きことばなかたいいなので、「みたい」とはいっしょにわない。a　NみたいなN①このは、チョコレートみたいながする。②さんって、あのみたいなでしょ？③いいをして、みたいなをなV）でほしいな。④みたいなのがかんでいる。「N1みたいなN2」ので、N2がどのようなものかを、N2にているをげてするのにう。「NのようなN」でいかえることができる。「NらしいN」とするがいが、「NみたいなN」は、たもの　をにげているだけで、N1＝N2ではない。えば、「みたいな」という、そのはのようにえるが、はではない。それにして、「らしい」は「たいへんっぽい、のがきわだった」のでにしてわれるである。b　…みたいだ　N／V　みたいだ①すごいだ。まるでみたいだ。②ってまるでみたいだね。③そののにれるまでは、まるでをいているみたいだった。④がするなんてうそみたい。ものごとの・・・のなどについてしがどのようにじたかを、わかりやすいよくたものをにあげてべるのにう。「…ようだ」でいかえることができる。のしことばでがうには④のように、の「だ」をくことがい。「うそみたいだ」は「とてもじられない、たいへんいた」という。c　…みたいに　N／A／V　みたいに①もう9もばなのに、みたしミラい。②このは、ってにもなるが、みたいにきれいだ。③みたいにすねるのはやめろよ。④こんなにうまいコーヒーが、100だなんて、ただみたいにいね。⑤ばかりがいみたいにわないでよ。あなただっていんだから。⑥A：ではあまりわないね。B：おいおい、そんないをしたら、がをさぼってばかりいるみたいにこえるじゃないか。ものごとの・・・のなどについて、よくたものをにあげてべるのにう。⑤⑥のは、「はそうでないのに」というみがある。d　…みたいなものだ　Nみたいなものだ　V－たみたいなものだ①のなんか、のけにべたら、ただみたいなものさ。②≪をみながら≫こんなにがあけば、もうったみたいなものだ。③A：さん、、ったんだって？B：ったというか、まあ、られたみたいなものだ。のにはいってたんだそうだよ。「まだにはそうなっていないが、ほとんどにそうなる」あるいは「ほとんどじとってよいである」というをす。しことばでは「ものだ」ではなく「もんだ」がわれることがい。2　…みたいだ＜推量＞①ものをらないみたいだ。②さんはいものがいみたいだ。③どうもかぜをひいたみたいだ。④されたは、すごくいいみたいだよ。⑤かげているみたいだ。へんないがする。⑥A：あの？B：だろう。のじゃないみたいだね。⑦A：はいつあるんだい。B：みたいだよ。⑧A：あのをやめたの？B：みたいだね。⑨A：さんはもうアメリカにったのかな？B：ええ、きのうしたみたいだ。⑩A：さんっていたでしょう？B：うん、すごくってるみたいだった。⑪そのときのさんはなんだかくて、いつものではないみたいだった。しのをす。「はっきりとはできないが、そのようにう」という。しが、かをたとか、をいた、いをかいだなどのしたことをもとにしたことをべる。これにして、のからいたなどなにもとづいたしのをすときには「らしい」がわれ、いたことをそのままするには「そうだ」がわれる。（）さんははないみたいですね（もう、もいし）。（）さんははないらしいですよ（きいたわけではないがーのがそうっていた）。（）さんははないそうです（さんから「かない」というがあった）。「…みたいだ」と「…みたいだった」のつはどちらもえるがいが、はなる。ののように「V－たみたいだ」は、にきたことがらについて、しがしているでしたをべている。（）A：さんはいつたのかな？B：はかけなかったから、からたみたいですよ。「V－たみたいだった」は、しがのあるでそのようにったということをす。（）のはだった。かたみたいだったから、ドアをあけてみたが、だれもいなかった。そんなことがもあった。また、たままのをべる、えばのにケーキがあるに「このケーキはおいしいみたいだ」とはわない。このには「このケーキはおいしそうだ」とう。（）A：これ、しくったテープレコーダーです。（）B：そうですね。（）B：みたいですね。このときにわれる「そう」は、の「そう」とはうのでがである。のには「おいしいそうだ」「だそうだ」となる。3　…みたい＜例示＞　NみたいなN　Nみたいに①やみたいなにはみたくない。②A：のって、B：さあ、デパートみたいなところにはあるんじゃないかな。③かくていみたいなはありませんか。④さんみたいにがになりたい。⑤みたいにいと、くのがにいやになる。⑥みたいなあわて、たことがないよ。⑦みたいになことばかりしていると、そのうちもにしなくなる。をあげるにう。①は、「えば、やなどの」、②は「えば、デパートやデパートのようなきな」という。⑤⑥⑦はのをとっているが、には「はかったので、くのがにいやになった」「はにあわてものだ」「はなことばかりしているから、そのうちもにしなくなる」とじとえてよい。なしことばでは「…のような／ように」がいられる。(561)

### 【みだりに】

①みだりににえさをえないでください。②みだりにのにちるべきではない。③とえども、のプライバシーをみだりにすることはさない。「もないのに」「なく」「に」の。「みだりに…するな／してはいけない」など、にはのをするがく。のしことばでは、「に…しないでください」がよくわれる。きことばなかたい。(563)

### 【みる】る

1　…をみる　Nをみる　Vのをみる①テレビをるのがきだ。②からぽんやりとがれてくのをていた。③このごろはしくてをるひまもない。④のをてください。⑤のかげんをみる。⑥しばらくをてみよう。⑦のをみる。⑧のおばさんにのをみてもらっている。⑨もしよかったら、うちののをてもらえませんか。⑩あののうことをにしているとをみるよ。⑪あのはのからずっといをみてきたのだから、こそせになってしい。⑫は20にをみた。「でみる」というなのほか「やなどをってべる」「をする」などのがある。⑩⑪はなでそのようなをするという。⑫は、きことばなかたいで「いがかかってやっとした、した」という。「がをみる」というには、「る」というをう。2　Nを…みる　NをA－くみる　NがV－るとみる①をくみているとしますよ。②はのをくみて、をすることをしました。③は、Aにはまだがあるとみて、しくするえです。「－とえている」「…としている」という。きことばなかたい。3　にみる①ののにみるのはにあまるものがある。②のは、まれにみるとなった。③≪やなどのし≫アンケートにみるのと「…にみられる」という。きことばでわれるかたい。4　…ところをみると①うれしそうなをしているところをみると、はうまくいったようだ。②いまだにがないところをると、はうまくっていないようだ。③なをしているところをみると、まだのことをらされていないのだろう。のをに、しがをべるにいる。には「らしい／ようだ／にちがいない」などがわれることがい。「…ところからみて」というがわれることもある。（）にっているところからみて、のちらしい。5　V－てみる⇾【てみる】6　…からみると⇾【からみる】1(563)

### 【みるからに】

①にってきたのは、るからにのいのだった。②このコートはるからにだ。③あのはいつもるからにそうなものをている。④のから、るからにやさしそうなおばあさんがてきました。⑤、といて、ふだんはなもるからにれたようすでっていた。「からにできるほど」、「ただけですぐにわかるほど」という。(565)

### 【むき】き

1　Nむき＜方向＞①きのはるくてかい。②きにいてください。③きにてください。④きにしたいとえております。などのや、などをすにいて、そのにをけていることをす。④はなの「きに」で、「なるべくさせるようにする」という。2　Nむき＜通性＞①きのスポーツにはどんなものがありますか。②このはきだ。③このはもくもい。どちらかというときだ。④このはたいへんがよいが、もくできではない。⑤セールスのにはききがある。⑥このはきすぎてでうのにはきだ。「Nのためにちょうどよい／Nにしている」という。「Nむきでない」のわりに、「Nにきだ」とうことができる。⑤の「ききがある」は、で、「そのによって、があったりなかったりする」という。「むけ」とのいについては「むけ」を。3　Vむきもある①のをくわないむきもあるようだから、はでなはんだがいい。②のについてはをぶむむきもある。「そういうもいる」という。①は、「くわないもいる」、②は「はしいとえているもいる」という。きことばなかたい。4　むきになる①むきになっていった。②そんなにむきにならなくてもいいじゃないか。③はいいだが、のとなるとすぐむきになるのでる。「たいしたことでもないのに、になってったり、しくしたりする」をす。②は「しちついて、になったほうがいい」という。(565)

### 【むく】く

①はとしてはすぐれているが、にはむかない。②はとするにむいているとう。③はらないにうのがいなので、セールスのにはむいていません。④このはさんみたいにおしゃれなにいているとうんだけど。⑤にいたはないでしょうか。「がある」という。「（）が（）にむく」「（）が（）にむく」のどちらのでもう。「むいている」というでもえる。また、をするときは「NにむいたN」のがよくわれる。(566)

### 【むけ】け

1　NむけのN①このでは、けのテレビをっている。②けのはがきくてみやすい。③むけのはサイズがしきくなっている。「N1むけのN2」というで、N1をとしてられたN2というをす。①のは、「どものためにられた」という。よくたに「…むきの…」「…ようの…」がある。「…むき」は「…にした」という。「…ようの」は、「…がうための、…のにうための」というで「のスリッパ」「パーティーバッグ」というようにわれる。2　Nむけに①では、けにハンドルのをくからしている。②、むけにスポーツクラブやをいているがえている。③Yでは、いむけにアルコールがなくカラフルな、りカクテルをである。「…をに／…をとして」の。(566)

### 【むけて】けて

Nにむけて①103は88に、からロンドンにけてした。②たるべきオリンピックにけてがとめられている。③については、ににけてのながなされなければならない。①のようにやめざす、②のようにめざすのをす。また、③はそののけられるをす。(567)

### 【むしろ】

1　むしろ①じゃましようとっているわけではない。むしろたちにしたいとっているのだ。②A：からこっち、はよくなりましたか。B：そうですね。むしろよりくなったんじゃないですか。③はよくなるどころか、むしろくなってきている。つのものをして、どちらかといえばのがよりがいというをす。2　…より（も）むしろ　Nより（も）むしろ　V－る／V－ている　より（も）むしろ①おのこむには、なんかするよりも、むしろでゆっくりしたい。②よりもむしろの・できたいとえるがえてきている。③のせいで、よりもむしろへくがくつくというがこっている。④このについてはよりもむしろのがよくっている。「XよりもむしろY」のでわれて、どちらかとえばYのががいことをす。①②のように、にするだけでなくしのがまれて、「つのもののうちひとつをぶなら、どちらかとえばがよい」というをすことがい。このには、に、「…するほうがよい」「…したい」「Nがいい／よい」など、しのみやをすがくる。③④のは、「にえられるのとはに」「していたこととはに」というみがあり、「かえって」「に」に」などでいいかえることができる。3　V－るぐらいなちむしろ①きたくないにをしてくぐらいなら、むしろきたいとっている。②こんなにのいになんかするぐらいなら、むしろにでもったがいい。③あんなにをけるぐらいなら、むしろをぶ。「XぐらいならY」のでわれて、しにとって、「XよりもYのがましい」「しにとってXはましいことではないので、Yをぶ」というをす。「XくらいならY」とうこともある。4　というよりむしろ…だ①あのはというより、むしろのです。②のは、というよりむしろだ。③はとうよりむしろいというじだ。あることがらについてのやのをするのにいる。「Xというい、もできるが、すればYというい、のがだ」という。(567)

### 【むやみに】

①のにむやみにさわらないほうがいい。②でにったときはむやみにきらないほうがいい。③たとえさなでも、むやみにしてはいけない。④、はのせいか、むやみにる。がどうなるか、あとさきをえないでかをするをす。に「するな」「してはいけない」などのや「しないがよい」「するのはよくない」などがくることがい。また、④は、をこしているをす。「むやみやたらに」は「むやみに」をした。「むやみと」のでもわれる。(568)

### 【むり】

1　むり①をわないでよ。②なことをおいしてすみません。③いとはってがきかない。「なこと、きすぎたこと」という。③はなで、「なにえられない」という。2　…はむりだ①にしいを50もえるのはだ。②そのはにはですよ。③A：これ、までにしてもらえますか。B：ですか、ちょっとですね。するのがしい、たいへんだ、だというをす。3　…にはむりがある①のにはがある。②このを3かでさせるというのにはがある。③のえにはがあるよ。ながある、または、にあわないがあるというをす。4　むりに①A：かばんがれちゃった。B：そんなさなかばんににめむからだよ。②このスーツケースは、をしてにけようとするとブザーがなるようになっています。③いやがるをにつれてった。④きたくなければ、にくことはない。⑤がいやがっても、にでもれてくつもりだ。できないことややりたくないことをにやるをす。5　むりをする①をするとをこわしますよ。②くまでするのもいいが、もいのに、をしてにでもなったらだよ。③あのはでかなりをしていたようです。ないこと、しいことをにするというをす。6　…のもむりもない　…のもむり（は）ない①あんなひどいことをわれては、がるのもはない。②うちのはんでばかりいる。あんなにんでばかりいてはがいのもはない。③A：をするになれないなあ。B：こんなにくちゃ、ないよ。ことがらをすにいて、そのことがらがこるのはだというちをす。だとするためのやがにべられることがい。③のように「…のも」のはすることができる。(568)

### 【めく】

Nめく①しずつめいてきた。②どことなくめいたがホールのりにっていた。③は、めいたいをした。④のりめいたいが、になった。にいて、それがすをもっている、というをす。えば①はしずつのようになってきたということで、のわりごろにう。するはられている。をするは③④のように「NめいたN」というになる。(569)

### 【めぐって】

Nをめぐって①のをめぐってでしいがわされている。②のをめぐってなうわさやがれとんだ。③をめぐって、はなとなった。「…にして」「…について」という。あることにしたのことがらもめてとしてとりあげるのにいる。「…について」のように、いろいろなといっしょにえるわけではない。（）のをめぐってしています。（）のについてしています。にくは「する、をわす、うわさがれる、する」などにされており、Nがどうなのかをいろんながしたり、しったりできるものでなければならない。「をめぐり」は、きことばによくわれる。またをするときには、「NをめぐるN」「NをめぐってのN」のになる。（）をめぐるがマスコミにきくとりあげられている。（）のをめぐってのいは、しにひどくなっていった。(570)

### 【めったに】

1　めったに…ない①ははめったにまない。②うちのはでめったにもしない。③みはきではないので、やなどのにはめったにかない。④こののはではめったにない。⑤わがはずいぶんにあるので、おがやってることはめったにない。⑥のともくれてしまって、めったにうこともない。⑦はでのをかけるようなこともめったになくなった。かをするがにないことをす。①～③のように、「めったにV－ない」のか、④⑤のように「…はめったにない」のでわれることがい。「たまに」もがないことをすが、するがう。えば、の1、2はどちらも「をむがたいへんないこと」をしているが、（1）の「めったに…ない」はが「ない」ことをしている。それにして、（2）の「たまに」ははいがむことが「ある」ことをしている。（）1。ははめったにみません。（）2。ははいですが、だちにわれたときなど、たまにはむこともあります。あまり…ない＞ほとんど／めったに…ない＞ぜんぜん／まったく…ないのにがくなる。2　めったな①めったなことでかないも、そのときばかりはさすがにうろたえてしまった。②A：さんがったんじゃない？B：しっ。もないのに、めったなことをうもんじゃないよ。③このはですから、めったなことではしません。④このことは、めったなにしてはいけない。な。「めったなことで（は）…ない」のでわれて、「よほどなことがなければ．－ない」というをす。①は、「くことはほとんどない、たいていのことはだ」、②は「いいかげんなこと、のないことをってはいけない」という。④の「めったなN」のは、あまりわれなくなってきている。ここでは「よほどなにはしてはいけない。」という。(570)

### 【も】

1　Nも＜累加＞　A　Nも①A：なんだか、すごくれました。B：ええ、もです。②へくので、りににもってる。③もだ。④のアパートはりがい。そのうえ、しもくない。⑤はがいし、もりだしそうだ。のものごとをさらにつけえるのにいる。にじなものごとのあることがとされているが、そのがにされているだけの③のようなもある。にくだけでなく、②のように「＋」にくこともある。B　NもNも①セルソさんもイサベラさんもペルーのです。②さんもさんも、はあまりじゃないでしょう。③まではでもバスでもける。④さんにもさんにもしておきました。⑤A：さんかさんをんできてくれない？B：さんもさんもまだしていないんですけれど。⑥もってきたし、もくなってきました。⑦もないし、もない。⑧がきなもいるし、いなもいる。のものごとをならべてりげるのにいる。にくだけでなく、③④のように「＋」にくこともある。2　…も　…も＜対句的＞　a　…も…も…ない　NもNも…ない　NaもNaもない　A－くもA－くもない　R－もR－もしない①くもくもなく、ちょうどいいだ。②はがりもがりもしない。だ。③でをやるのにももない。④はな、ももないだな。⑤はももないだ。⑥あまりのさにももでない（＝どうしようもない）。⑦ももない（＝のない）をたてられる。⑧はげもれもしない。があったら、いつでもなさい。「い・い」「・」などになったをりげて、それらのどちらでもないといをす。ながく、さらにしたものに「にっちもさっちもいかない（ニビうにもならない）」がある。（）のはにっちもさっちもいかないだ。b　V－るもV－ないもない①A：すみません。までにはできそうもありません。B：をってるんだ。いまさら、できるもできないもないだろう。やってもらわないとるよ。②A：すみませんでした。してください。B：すもさないもない。のじゃないんだから。③A：ご、なさるんですって？なさったんですか。B：するもしないもないんですよ。でめてしまってから、うんですから。④A：なさるんじゃないかとしているんですが。：するもしないもない。んでするよ。じをりしいて「する、しないをにしていられるではない」というをす。のことばのをりして、それをくしたり、そんなことをってはるとくたしなめたりするのにう。c　…もなにもない①もなにもないいたにいがってきた。②ももないには、をってもだ。③：テレビをして、ってちょうだい。：だってえ、いいところなんだもん。：だってもなにもありません。すぐなさい。④A：をよくべましてから、をするかどうかしたいとえております。B：をっているんだ。べるももないだろう。これだけけががているんだから。⑤A：なさるんじゃないかとしているんですが。B：するもなにもない。んでするよ。をめるのにいる。①②は、にいて、それだけでなくそののものもないというをし、ないことをしている。③～⑤は、ののをりして、それをくしたり、そんなことをってはるとくたしなめたりするのにう。「V－るもV－ないもない」とじ。d　…も…も　V－るも　V－る／V－ない　も①くもまるものつです。②くもかないもあなたしだいです。③するもしないもしだいだ。④つもけるものだ。「く・かない」「つ・ける」などになったをい、に「…しだいだ」「…にかかっている」などのをって、「どちらにするかは…にかかっている」「どちらになるかは…でまる」というをす。3　極端な事例＋も　N（＋助詞）も　V－るのも①をはじめて1になりますが、まだひらがなもけません。②スミスさんは、かなりしいもめます。③こんななはにもできる。④ろしくて、もでませんでした。⑤っていることもできないほどれました。⑥あんなはをるのもだ。⑦のもえておいたほうがよい。⑧がいときには、さなでさえもがまんできない。⑨はにまでもくことができるようになった。なをあげて、それよりものさいことがらについてはそうであることをする。たとえば、①ではやさしいひらがなもけないのだから、「それよりもしいカタカナやはけない」というみがある。また、⑧～⑨のように「さえ」「まで」などをってをすることもある。4　数量詞＋も　a　数量詞＋も①はもうもっています。②が300もするなんて…。③デモにはものがした。④いっペんにビールを20もむなんて、あいつはどうかしているよ。⑤ほしいけれど、10もするなら、えない。⑥しいをおうとってをめたが、までまだ50もりない。のさやのさをするのにいる。b　数量詞＋も…ない①ぐのはで、ほんの5mもげない。②ここからあそこまで10mもないだろう。③のには、500もっていない。④ベッドにって10もたたないうちにてしまった。のなさやのいことをしてのをめるのにいる。のいことをする「も－4a」のとらわしいのでをする。（）こんなならしをしていて、わずか10もえないのか。（）（）ので10もえるはずがない。（）c　最小限の数量＋も…ない①はひとりもなかった。②のことはもれたことはない。③へはもったことがない。④はがだったが、をめようとするはひとりもいなかった。⑤このはしもおいしくない。「ひとりも」「ひとつも」「も」などのをす「1」のくや「すこし」をちしのとともにって、「まったく／ぜんぜん－ない」というをす。d　数量詞＋も　…ば／…たら①このなら、もあればだ。②A：テープレコーダーつて、いくらぐらいするものですか。B：そうですねえ、いものなら、もあればえますよ。③もうしばらくってください。10もしたら、はっていらっしゃるといます。④はだんだんりになってきた。あと10もすればきれいにれがるだろう。⑤このあたりは、がかだが、もう10もたてば、されてしまうだろう。あることがらがするのにこののがあればだということをす。「ば」のほかに、「たら」や「と」もいられる。また、には「だろう」「でしょう」「とう」などしのであることをすがくることがい。e　数量詞＋も…か①にあってから、されるまで1もあったでしょうか、だったのでよくわかりません。②A：そのはどれくらいのきさでしたか。B：そうですねえ。50cmもあったかなあ。③、のにきながあった。さは4、5mもあっただろうか。かかだったとう。④3センチもあろうかというのまりがってきた。「あったでしょうか」「あろうか」などといつしょにわれて、しのなによるおおよそのをす。5　疑問詞＋も　a　疑問詞＋（助詞）＋も①さんはいつもをんでいる。②だれもがっている。③どれもみんなすばらしい。④どちらもしい。⑤もらない。⑥このことはにもさないでください。⑦もえない。⑧このはどれもにたたない。⑨どちらもしくない。「だれ・なに・どれ・どこ・いつ」などといっしょにわれて、どのにもてはまることをす。①～④のようににいられるには、⑤～⑨のようににいられるにはをす。ただし、の「いくらもある」は、たくさんあること、「いくらもない」は、ほとんどないことをす。（）そんなはいくらもある。（）のには、いくらもっていない。b　なん＋助数詞＋も①タイにはもだちがいる。②もをしたことがある。③もノックしたが、がない。④はもりいた。⑤かもにしたので、はれだ。やなどがいをす。c　なん＋助数詞＋も…ない①このがけるはもいないでしょう。②のでは、がるはにもない。③すぐにわります。もかかりません。④こんなチャンスは、にもない。やなどがないをす。ただし、の（2）のようにがいことをすもあるのでをする。（）1。までもない。（＝い）（）2。はもをせなかった。（＝い）6　Nも＜提題＞①もまって、がしい。②もふけた。③かったみもわって、あしたからまたがまります。④にもったものだ。⑤さっきまであんなにいていたんもようやくました。⑥のきげんもって、ながった。①～③のように、のや、ものごとのまりやおわりなど、がぎていくのにともなってするようなことがらを、しがをこめてとりあげたり、④～⑥のように、にもじようなことがあることをすることで、をやわらげてしたりするにいる。7　NもN　＜強調＞①あいつは、うそつきもうそつき、うそつきだ。②ののは、も、いからで3もかかるところにある。③A：さん、みなんですって？B：みもみ、ものすごいみだ。じをりして、そのがでないことをするのにいる。8　NもNなら　NもNだが①もならもだね。②さんもさんだが、さんだってひどいよ。③わいろをもらうもだが、それをるもだ。「XもXならYもYだ」などので、どちらにもがあることをするちをす。9　…もあり…もある　NでもありNでもある　NaでもありNaでもある　A－くもありA－くもある①はこののでもあり、のでもある。②さんはのでもありでもある。③のったことは、でもありでもある。④のは、しくもありさみしくもある。「XもありYもある」ので、XとYのであることをす。10　…もあれば…もある　NもあればNもある　VこともあればVこともある①きるはまっていない。くきることもあればくきることもある。②、もあればもある。③のはにもからない。がることもあれば、がることもある。④にっていると、なもあれば、なもある。⑤といってもいろいろだ。がまれているものもあれば、がまれているものもある。あることがらについてのバリエーションをべて、いろいろながあることをす。なことがらをべることがい。11　…もV－ない　NもV－ない　R－もしない①あいつはになだ。であっても、もしない。②はのぐあいでもいのか、にもつけない。③あのは、ほんとうにだ。あんなにひどくられても、きもしない。④からがついていたのか、はがをやめたといてもきもしなかった。⑤うちのはがきらいで、さしみをやってもきもしない。⑥さわりもしないのに、ガラスのコップがれてしまった。⑦になっても、もつけないで、にしていた。⑧さんはったのか、さよならもわないでってしまった。⑨このいのに、たちは、もないで、りっている。のをするのにいる。ならするはずのことをしないので、しがいたり、あきれたりしているにうことがい。12　…もV－ずに①わたしはくえもせず、なことをってしまった。②はもとらずに、けがのをしている。③は、いがをちそうなことにはいっさいもくれず、にしていた。「…もしないで」のきことばない。⇾【も】1113　…もの／…ことも　V－ない　V－る　もの／こと　もV－ない①したので、べるものもべないであわててへった。②にがりしたので、うものもわないでってきてしまった。③がりなかったので、いたいこともにはえなかった。④こんななではかるもからない。じをりして、「ならできることもできない」というをす。また、のようなもある。（）がにくなったというので、るものもりあえず（＝ぎで）けつけた。(571)

### 【もう1】

1　もう＋数量詞①すみません、もう5ここにいてください。②もうって、がなかったらにく。③もうしたいがいる。④もうあれば、がえる。⑤もう10ページめば、このはみえられる。⑥もうだけテストしてみよう。⑦もうだけってください。⑧みんながてから、もうにしてみた。などをさらにけえるのにう。たとえば、④は、「おがいくらかあるが、これにえてあれば、がえる」という。「あと5」のように「あと」でいかえられることがい。ただし、「あと」のは、「これがのり」というみがあるが、「もう」にはにそういうみがない。などについては、それでとはいにくいは「あと」ではなく「もう」をう。たとえば、「みんながてからあとにしてみた」はやや。2　もうすこし　a　もうすこし／もうちょっと＜量＞①もうし、ミルクをください。②もうしここでごしたい。③もうしてば、がってくる。④ゴールまで、もうちょっとだ。のからのかがあることをす。「あとすこし」ともいう。また、「もうちょっと」は、「もうすこし」よりくだけたで、のなどでうのが。がいはえない。（）もうたくさんほしい。（）もっとたくさんほしい。b　もうすこし／もうちょっと＜程度＞①もうしいいをいたい。②はもうしくしたがいい。③もうしきなでしたほうがいい。④かれなら、もうしむずかしいもできるだろう。⑤もうちょっといものはありませんか。やをすとともにって、のよりわずかにがいことをす。c　もうすこしでV－そうだった①もうしでうまくいきそうだったのに、がってしまった。②もうしでにれそうになったが、ぎりぎりでにあった。③もうしでのことをいそうになったが、とかした。④はもうしでけんかしそうになったが、わたしがとかめた。「あるがこるまでった」という。「もうしで…ところだ」といかえられることがい。くだけたなどでは「もうちょっとで」もう。d　もうすこしでV－るところだった①もうしでけがするところだった。②ぽんやりいていて、もうしでにひかれるところだった。③ちゃんはもうしでるところだったのに、のでをさましてしまった。④はまたしたが、はもうしでするところだったのだ。「V－るところだった」をめるい。⇾【ところだ】2b(578)

### 【もう2】

1　もう＜完了＞①のはもうわった。②A：になっているあの、もうましたか。B：ええ、こののにました。③はもうできている。④そのなら、もうしている。⑤のはもうをしたそうだ。⑦はもうしたので、りせないんです。⑧A：すみません、はもうですか。B：いいえ、まだいています。⑨A：このはもうましたか。B：いいえ、まだていません。はです。とともにって、、できごとなどがあるまでにしたことをす。かどうかをうでも「もう」をいる。にっていないときは、でも、でも「まだ…ない」をいる。2　もう＋時間／＋年齢①おしゃべりにになっていたら、もう5だ。②がついたらもうだった。③このはもう10だから、のになれる。④こよみのではもうなのに、まだがっているれ⑤もうがけるのにらはまだしけている。⑥もう8ですよ。きなさい、にれますよ。やをすとにいて、すでになにっているということをす。①②のようにったよりくそのにしてしまったというちがまれることがある。3　もうNaだ／もういい①もうおなかがだ。②はもうにしんだ。③A：おはわいていますか。B：ええ、もういいですよ。④A：、ったんですか。B：ええ、これでもういいはずです。⑤A：ちょっとをじて。1、2、3。B：もういい？A：いいよ。はい、をけて。「だ」「だ」などとにいて、すべきになっているというをす。「もういい」はに「になになっている」というで、いろいろなでいる。によって、「ができた」「した」などのになる。「もういい」のなについては、もう5b。4　もう…ない①さんはもうここにはいません。②このはもうしていない。③れて、もうもえられなくなった。④のあと、だれももうをわなかった。⑤かれとは、もうこれしたくない。⑥わたしは、18、もうではない。⑦もうとあのにはわないだろう。⑧もうもじられないとって、はいていた。⑨こんなのいにはもうがまんができない。⑩さいふのにはもう100しかっていなかったので、へるのにバスにもれなかった。⑪10のがついたので、もうこれはがらないだろうとった。あるなどをとして、それはない、これはないというをす。5もう＜否定的態度＞　a　もう＋否定的表現①こんななはもうやめたい。②もうあののをくのはいやだ。③これきけるのはにもうです。④あのをかばいけられるのももうだ。⑤をするのは、もうたくさんだ。⑥こんなまずいものをべるのはもうたくさんだ。⑦もういいかげんにをいじめるのはやめなさい。「だ」「いやだ」などのをいて、これあるをけることができないというをす。「もうたくさんだ」は「にしたので、これはいやだ」ので、かなりになったにうことがい。また、のをする⑦のようなにもう。b　もういい①A：ほかにすがありますか。B：これでもういいです。②A：チョコレートいましょうか。B：いや、これだけがあれば、もういいです。③A：もういかがですか。B：いや、もういいです。④A：なアルバイトさえなかったら、られたんだけど。B：いはもういいよ。⑤A：おさんのちもえてみなさい。B：もういいよ。おはききたよ。⑥A：っていたのに、うまくかなくてだったね。B：もういいんです。か、ほかのをえます。⑦A：もうしなおせば、みつかるかもしれません。B：もういいよ。あきらめよう。に「これでだから、これはいらない」という。いろいろなでう。③はるときの。また、④⑤は、「これがで、これはけれられない」ので、しののをす。いやになったり、うんざりしたなどによくう。⑥⑦のように、それまでしていたことをあきらめるというちのとしてもいる。「もういい」のなは、もう3。6　もう＜非難＞①おさんたら、もう。わたしののをうのはやめてよ。②もう、あなたったら、こんなやさしいもできないの。③さんたら、もう、また『おれて』ですって。でやればいいのに。④A：あ、また、した。B：もう。ぶんやにして、にするのちをす。くだけたでのみいる。がうことがい。のちをこめた「（っ）たら」とともにうことがおおい。(580)

### 【もうすぐ】

①さんはもうすぐます。②もうすぐみですね。③クリスマスまで、もうすぐだ。④のももうすぐきそうだ。⑤もうすぐここに30てのマンションがつそうだ。そのことがこるまでにからあまりがないことをす。「すぐ」よりはい。しことばでよくわれる。(582)

### 【もかまわず】

N（に）もかまわず　Vの（に）もかまわず①びのあまり、もかまわずきついた。②たちからなをめるががっているのもかまわず、はへのをした。③からしいをびせられているのにもわず、そのはびした。「…をにかけないで」というをす。「もかまわず」というなでいられることがい。(582)

### 【もくされている】

Nともくされている①のでは、マックィーンがとされている。②がそののとされている。③のとされているのは、のだ。④でとされているのは、です。「とみなされている、そういうがっている」の。ただし、「されている」のは、はどうなのか、どうなるか、まだわからないにいる。(583)

### 【もさることながら】

Nもさることながら①は、のもさることながら、スポーツでというしのないだ。②このドレスは、デザインもさることながら、いがすばらしい。③あのレストランは、もさることながら、めのさがもだった。「XもさることながらY」というで、「Xもそうであるが、Yはもっとそうである」「Xもそうであるが、さらにYもあげられる」というをす。よいとわれることにわれるのが。(583)

### 【もし】

にをい、ことがらをにするしのをす。でいられることがい。に「かりに」「もしも」がある。「もしも」とのいについては「もしも」を。1　もし…たら①もしがってきたら、をりんでおいてね。②もしよろしければ、、にいらっしゃいませんか。③もしおなら、いっしょにドライブにきませんか。④もしがくのが1でもかったらになっていただろう。「たら」のかわりに「…は／…なら」などもいる。なをい「かりにそうならば」というをす。①～③のように、かどうかだったりのことがらや、④のように、にすることがらのにいて、それを・にべるにいる。「かりに」とているが、「かりに」はにはしないことがらをのうえでにするようなにいられる。そのためにするがある①のようなをべるにはである。これにして「もし」は、しにするがあれば、とはにで、①のようににこりそうなことがらあっても、④のようににすることがらでもうことができる。（）かりにがってきたら、をりんでおいてね。2　もし…ても／…としても①ではりですが、もしでもはします。②でりそうですが、もしをすることになっても、にみます。③もしにられたとしたって、たいしてになるものはない。④もしにしても、にのがないのならすべきだ。に「ても」「としても」「としたって」などのをい「にそのようながしても」というをす。「そのはあまりないが」というみがあるがい。たいてい「かりに」できかえられる。(583)

### 【もしかしたら】

1　もしかしたら…かもしれない①のがったから、もしかしたらわたしもにかけられるかもしれない。②はいいだが、すこしがてたから、もしかしたらがるかもしれない。③このがあれば、もしかしたら、にできるかもしれない。④はここ2、3にてない。もしかしたらはかもしれない。⑤もしかしたら、さんがっているかもしれないが、はっきりしたことはまだわからない。⑥もしかしたら、さんがそのをもっているのではないだろうか。「…かもしれない」「…のではないだろうか」などののをってそういうこともありうるというののちをす。しがのにあまりをもっていないこともす。「もしかすると」「もしかして」「ひょっとすると」ともう。2　もしかしたら…か①A：あの、もしかしたら、さんじゃないですか。B：ええ。そうですよ。ごじですか。②もしかしたらにでもあったんじゃない？③もしかしたらはになるのではないだろうか。「…か」「じゃない？」などをすをって、のにそれほどがないことをす。「もしかすると」「もしかして」「ひょっとして」ともう。(584)

### 【もしくは】

きことば。「XもしくはY」のでわれる。のなどによくわれるかたいで、のしことばではわない。のしことばでは「XかY」が、よくわれる。1　NもしくはN①もしくはのインクをすること。②おいわせは、もしくはでおいします。③このは、もしくはそのにりできる。④≪≫842のによるにしたは、これを6のもしくはまたはのにする。「つのうちのどちらか」という。XかYのどちらかをばせたり、XかYのにてはまっていれば、どちらでもよいということをしたりする。④のように、としてわれるはで、「XまたはY」のXがさらにつにかれるに「XAもしくはXB」をう。「XAもしくはXB、またはY」というになる。2　V－るか、もしくは①は、5までにするか、もしくはすること。②パンフレットをのは、でしむか、もしくはFAXをごさい。③しみは、におまい、もしくはになさっているにります。「つのうちのどちらか」という。①②は「XとYのどちらかをばせる」ときのい。③はつのをして「XかYのにてはまっていれば、どちらでもよい」という。このにてはまっていてもかまわない。③のようにをすをけるは、「NもしくはNする」のをうこともある。(585)

### 【もしも】

「もし」をさらにしたで、「かりにそうならば」というをす。1　もしも…たら①もしもがえるなら、のがいい。②もしもがのだったら、うをとるとう。③もしもがぐらいければをびまわっているだろう。④もしもがこるのがあと30ければ、はなものになっていただろう。に「たら／ば／なら」などのをい、かどうかのことやとのことを「かりにそうならば」とするをす。2　もしものN①にもしものことがあったらどうしよう。②もしものにはすぐしてください。③はそんなにちょくちょくこるわけではないが、もしもののためにをしておいたがよい。「もしも」のに「／／こと」などのがき「そのようなになった」というをす。「」「」「」など、ましくないなのにいる。①は「」のことをにう。「」もほぼできかえ。「もし」にはこのはない。(585)

### 【もちまして】

⇾【もって2】

### 【もちろん】

1　もちろん①A：にきますか。B：もちろん。②A：そこへったら、にえますか。B：もちろんですよ。③このは、がくなるかもしれません。もちろん、そののはちゃんとわれます。④A：あの、は、きちんとれるのでしょうか。B：それは、もちろんですよ。のこととけれるちをす。そのからしうることについて、そのりであるとする。また、ののように、にべたことについて、をつけたりするにもう。（）わたしはこのにです。もちろん、できるかどうかはのをたなければなりませんが。（）は、のはアルバイトをして、とでおしゃべりをしてってます。もちろん、いつもそうだというわけではありませんが、だいたいそういうになっていたようです。2　Nはもちろん①は、はもちろん、ドイツももできる。②は、スポーツで、テニスはもちろん、ゴルフもサッカーもうまい。③のさんはもちろん、のメンバーがします。④のパーティーは、いろいろなのはもちろん、カラオケもディスコもある。⑤このは、にはもちろんにつし、るだけでもしい。⑥はのりえはもちろん、もせんたくもはでもやる。そこにるなものとしてNをとりあげ、そのでののものをべあげるのにいる。「もちろんのこと」というもある。(586)

### 【もって1】

Nをもって①をもってがんばってね。②A：しめきりがというレポートがみっつもあるんだ。B：をもってやらないからこういうことになるのよ。③わたしは、そのときをもって、こうったんです。④これは、をもっておすすめできるです。「ものをつ」「につ」というときの「つ」というがわれているが、「」「」など、なのをいて、それをってというをす。(587)

### 【もって2】

1　Nをもって①このレポートをもって、とする。②このをもって、とみなす。③これをもって、とさせていただきます。「…によって」の。しことばでなどのでいる。きことばとしても、などでいるかたい。「…とみなす」というのとともによくう。2　Nをもちまして①をもちましてはいたします。②は7をもちましてさせていただきます。③これをもちまして（と）させていただきます。④をもちましてはめらせていただきます。やをげてなどをわらせるのにいる。なあいさつのなどにられており、くだけたなどではいられない。「をもって」より。(587)

### 【もっと】

①もっときいでしてくれませんか。②もっとをかければもっといいものができるといます。③がすればこのあたりはもっとになる。④A：むのはこのですか。B：いや、もっとです。⑤A：そのラケット、よくれてますよ。B：これよりもっといのはありませんか。A：あちらのいののほうがもっといんですが、あまりすぎるのもいにくいんじゃないでしょうか。⑥もっと（はっきり）うと、あのはやるがまったくない。⑦もっといたことにはでそのことをらなかったのはだけだった。それぞれのがよりいことをす。④のようにがはかれる（、ろ、、など）にもく。しことば。(587)

### 【もっとも】

1　もっとも①レポートはしてさい。もっとも、はやくできたはしてもかまいません。②このでは、さんにがある。もっとも、のさんにもがあったことはできない。③はかったなあ。もっともあれだけしているのだからか。ののについて、にするのにいる。2　もっとも…が／…けと①あしたからにきます。もっとも、のですが。②あのホテルにしたがいいんじゃない。もっとも、もったことがないから、にいいかどうかわからないけど。③がそうっていました。もっともうそかかはからないけど。④わたしはへきます。もっともにかればのですが。⑤スポーツをするなら、サッカーがい。もっともれることはれるけど。ののをにしたり、そのからきがしそうなことをしたりするのにいる。「…けど」はしことば。(588)

### 【もっぱら】

1　もっぱら①ではもっぱらのことでもちきりだ。②いろいろながあったが、はもっぱらばかりんでいた。③A：はですか。B：はもっぱらです。④はもっぱらテレビにゴロです。「ほとんどそればかり」の。2　もっぱらのN①Kのがいともっぱらのだ。②ののはあのだと、もっぱらのうわさだ。③もうすぐきながあると、ではもっぱらのうわさになっている。「」「うわさ」などとともにって、「みんながそうっていること」というをす。(588)

### 【もと】

1　Nのもと（で）①はのもとでいきりはねまわるのがだ。②はすぐれたのもとでみっちりをんだ。③のあたたかいのもとで、たちはびびとらしいをりしていった。④のののもとで、のながわれた。「…ので」「…ののぶで」というをす。をするは「NのもとでのN」になる。（）ののもとでのがわれた。きことばない。また、さらにあらたまって、「Nのもと」とうことがある。（）のののもと、のながわれた。2　Nのもとに①ののもとに3のがになった。②ちいのもとにのがわれた。③でのはげにするというののもとに、のはりっている。「…をとして」「…のにおいて」というをす。きことば。(589)

### 【もどうぜん】

⇾【どうぜん】2

### 【もともと】

1　もともと①そのはもともとのものだったんだ。だから、にすのはのことだ。②はでけたが、もともとのはがいものだった。③はもともとだ。あんなをしてもおかしくない。④もともとはのだから、をたのにしてもおかしくない。⑤もともと（は）のだったが、されてひとつのになった。⑥あのマンションのはもともと（は）だった。⑦あのはもともと（は）サラリーマンだった。「」の。ものごとのはじまりについてべるのにいる。あるがのとくらべてどうかということをあらためてするにいることがい。「もともとは」といういもある。2　…てもともとだ①めからあまりはなかったから、してももともとだ。②だとはうが、とにかく、をけてみよう。ちてもともとだ。③られてもともとだとって、いってにプロポーズしてみた。④A：にいいをくれるようんでみたけど、できないとわれたよ。B：まあ、だめでもともとだね。「…て」のに「だめ」「」などのをすことばをって、「もしなかったとじだ」というをす。のそうなことをするや、してしたなどにう。「…てももともとだ」とうこともある。(589)

### 【もとより】

1　もとより①そのことはもとよりしています。②にうのは、もとよりわかっていたことです。「はじめから」の。「わかっていた」、「そうっていた」というのとともに　よくう。ややあらたまった。2　…はもとより①ワープロはもとより、タイプライターすらったことがない。いつもきだ。②すしはもとより、すきやきもはべられない。とにかくはいっさいだめだ。③はもとよりもやられているのがでわかった。④はもとより、そのもだ。⑤えにくのはもとより、ののをしなければならない。はじめにとわれることをして、「それだけでなく、もっとなこと／いことも」というをす。(590)

### 【もの】

の「」がわれるのは、1のでなでつかめるようなをすで、それは、「もの」とするのが。1　もの＜物体＞①このにはいろいろながある。②かすぐべられるがあれば、それでいい。③どうぞ、すきなものをとってください。④ちゃんは、かないものにはをさない。⑤いたいものがあるので、りにデパートにる。⑥このののには、わたしにできるものはひとつもない。⑦いのでおもしろいものをみつけた。⑧このはのものだ。⑨なものをたようながする。⑨なものをたようながする。⑩のすそに、けむりのようなものがえた。、または、ののでこること（できごと）とはかかわりなくするかを、せず、にとらえるときにう。「もの」と「こと」のはしにくいことがいが、ののでこることをすかどうかがないとなる。やできごとにかかわるは「もの」ではなく、「こと」をいる。たとえば、「したいものがある」とはわず、「したいことがある」とする。に、「たいへんなものがこった」ではなく、「たいへんなことがこった」とするのがしい。2　もの＜言葉・知識・作品など＞①がものをうようになった。②あのはあまりものをらない。③のころから、ものをくのがすきだった。④かれとわたしとは、もののえがう。⑤にをちんだら、たまたまもののわかるがいて、すぐしてくれた。「う」「る」「る」などのとともにいる。にじて「」「」「」などのをす。「ものをう」は、「す」のに、をするというのいもある。（）のきがものをう。⑤の「ものがわかる」は「がある」の。3　Nというもの　ａ　Nというもの①はというものをもっていないのだろうか。②わたしはもなどというものをじたことがない。③まではれというものをらなかった。「」などなをすをいて、それをにすのにいる。ｂ　Nというものは…だ①というものはだ。②にとって、というものはいつまでたってもだ。③というものは、なくてもるし、ありぎてもる。④というものは、あまりきぎると、じられなくなる。⑤というものは、だれにしてもだ。「」「」などのにいて、そのやなどを、してべるのにいる。「…というのは」というもう。③④のように、のもある。によっては、いろいろなをこめることもある。のは「…とは…だ」にいかえられる。4　V－れないものはV－れない①A：これだけおいしてもだめですか。B：いくらまれても、できないものはできないんだ。②A：まだわかりませんか。B：いくらわれても、わからないものはわからないんだ。③A：にあしたまでにがらないんですか。B：がされても、けないものはけないんです。をす「V－れる」のや「かる」のようなのをつをう。できないことをする。「…ても」とにうことがい。5　…もの／…もん①りたおはしておきました。もらいっぱなしではいやだもの。②A：にするはったんですか。B：ええ。しめきりがくて。わたし、そんなにくかけないもの。③わたし、ですもの。のをするのはたりでしょう。④A：したから、はんだの。B：これだもん。いやになるよな。⑤がったんだもの。けるわけないでしょう。⑥A：もうすこしいたら。B：いっぱいやることがあるんだもの。らなくちゃ。⑦A：また、かけるの。B：うん。だって、さんもくんだもの。⑧A：どうしてしないんだ。B：だってがないもの。⑨A：をにしたの、よっちゃんでしょ。B：うん、だっておすいちゃったんだもん。くだけたでにつけて、をす。のをするためにいることがい。「もの」はいやがうことがい。「もの」のさらにくだけたが「もん」だが、（のい）ともう。⑦～⑨のように「だって」とともにうこともい。「だって」をにうと、えたのになる。、いがとしている。(591)

### 【ものか】

Naなものか　A－いものか　V－るものか　1　…ものか／…もんか①A：はさみもってく？B：そんなものなもんか。②A：さんがになった。B：そんなことがあるもんか。かのいだろう。③こんなな、せるものですか。④われたって、だれがくものか。⑤あんなに、むもんか。⑥がにしたりするものですか。のイントネーションをって、くするちをす。④～⑥は「…しない」というしのいをす。くだけたでう。「ものか」ははがいるが、の「ものですか」は、がいる。2　V－ないものだろうか①もうししくならないものかなあ。②もうしかりやすくけなかったものか。③とかしてまでにまでけないものかえてみよう。④だれかにしてもらえないものだろうか。⑤2のをとかできないものかとえた。⑥A：としができないものでしょうか。B：とかをえましょう。あるできごとのをむしのちをす。②「…なかったものか」は、しなかったことにしてするちがまれる。また、に「（と）える」をうは、がかどうかえるというになる。⑥のようにひかえめなのとしていられることもある。3　どうしたもの（だろう）か①へのはどうしたものかね。②らにするはどうしたものだろうか。③のりはどうしたものか、しえさせてくれ。どのようにすべきかからずにうちをす。がいるはのとしてもいられる。(593)

### 【ものがある】

Na－なものがある　A－いものがある　V－るものがある①このはになものがある。②のにはすばらしいものがある。③このはまだまだだが、しかしにキラリとるものがある。④のはらなかったが、いくつかのでるべきものがある。あるがられるという。④の「るべきもの」は「るのあるれた」という。「ある」のわりに「られる」「められる」などもわれる。（）このはまだまだだが、しかしにキラリとるものがられる。きことば。(594)

### 【ものだ】

Naなものだ　A－いものだ　Vものだ　1　…ものだ＜本性＞①のは、なかなかわからないものだ。②はなものです。③んはくものだ。④というのはすぐなくなるものだ。⑤はきにれるものです。⑥とはたいものだ。はいでもすぐにれる。⑦なんて、はかないものだ。⑧A：すみません、レポートをくのをれました。B：というのはなものだ。アルバイトばかりしていてはいけないよ。、にいわれていること、のなどについて、あるのをこめてべるのにいる。「」とともにうこともい。なとしてべて、とすることもある。たとえば、⑧は、のあるべきをべている。2　…ものだ＜感慨＞　a　…ものだ①「ステレオがないとできない」とは、のはぜいたくなことをうものだ。②このもくなったものだ。③このも、とってきれいになったものだ。④のことをうと、いいのになったものだとう。⑤あたりをして、かれはつくづくくへたものだとった。・をす。b　よく（も）…ものだ①あんなにのきかったのがよくできたものだ。②こんなむずかしいが、よくけたものだ。③になっていたに、よくもあんななことができたものだ。④したをると、みんなよくったものだとう。⑤こんなさいがよくつけられたものだ。⑥あんなにのときによくできたものだとう。あるできごと、についてしたり、れたりするちをす。このでは、「よく（も）」がないとなになることがい。3　V－たいものだ①そのおはぜひうかがいたいものです。②それはぜひたいものだ。③へかれるときには、わたしも、ごしたいものです。④ものにあやかりたいものだ。⑤のわたしを、んだにみてもらいたいものだ。⑥このままながいてほしいものだ。「たい」「ほしい」などのをすとともにって、そのちをするのにいる。4　V－たものだ①のころはよくをしたものでした。②は、いはりのとよくけんかをしたものだが、はすっかりおだやかになった。③さいはよくみんなでくのへびにったものでした。④そのころはになるとにいりびたったものでした。⑤、のいたずらには、たちがをいたものでした。において、にわれていたことををこめてするのにいる。(594)

### 【ものだから】

N／Na　なものだから　Aものだから　Vものだから　1　…ものだから①のをっているがんだものだから、それにつまづいてもころんでしまった。②「すぐれ」というがたものだから、あわててにびってってた。③がこのをあまりにめるものだから、ついりてしまった。④まであまりにかったものだから、タクシーにってしまった。⑤A：はになかったね。B：ええ、がをしたものですから。⑥がなものですからはごみしてしまいます。・をす。「から」にいかえることができるが、あとに、はつけられない。（）いものだから、こう。（）いからこう。「のがしい、あるいは、で、そのせいでかをしてしまった」ということをべるのにいられることがい。しことばでわれるのがで、くだけたいでは「もんだから」となる。2　…おもったものだから①はもうっているとったものだから、えませんでした。②はたぶんいないとったものですから、しませんでした。③のがいつもとはうとったものですから、すぐへれてきました。④がるといけないとったものですから、ものをりんでおきました。⑤ではにわないとったものだから、ファックスにしました。「ったから」とだいたいじだが、「ったものだから」はいめいたじをあたえる。(596)

### 【ものではない】

1　V－るものではない①のをうものではない。②はでくものではありません。③をいじめるものではない。のをすをけ、「…すべきではない」というをす。をえるようなにう。2　V－たものではない①こんなすっぱいみかん、べられたもんじゃない。②こんなななど、にせられたものではない。③あいつにまかせたらをしでかすかかったものではない。「できる」「かる」のようなをすをけ、それが「だ」というのちをするのにいる。しことばでわれるのがで、くだけたいでは「もんじゃない」となる。マイナスのことがらにう。(596)

### 【ものでもない】

1　V－たものでもない①しろうとばかりのだが、すぐれたところもあり、そうにしたものでもない。②みんな、になったばかりのさんをすぎてりないとうが、のはそうくびったものでもない。③をとったといっても、わたしのテニスのはまだまだてたものではない。「する」というをんだにき、「そんなにくない」というをす。2　V－ないものでもない①こののなら、にもれないものでもない。②はしいが、をつけていてけばけないものでもない。③では、をさないものでもない。④このルートでみなしにれば、にわぬものでもない。「できる」ということを、にす。かたい、ややめかしいい。「V－なくもない」とだいたいじ。(597)

### 【ものとおもう】

1　…ものとおもう①そういうことはないものとうが、かめてみよう。②は、たちもにくものとっている。しがしていることをす。2　…ものとおもっていた①スキーはむずかしいものとっていたが、やってみたら、だった。②いはもうしたものとっていたら、まだしあるとわれた。③あしたはストでみになるものとっていたから、のはしなかった。④なんてなものとっていたが、んでみたら、におもしろかった。⑤さんはないものとって、5のしからなかった。しのいみをす。だといんでいたが、にはそうではなかったというにいるのが。3　…ものとおもわれる①のについてはのにはがわかるものとわれる。②こののさでは、あまりいいはできないものとわれる。③はへげたものとわれる。「とわれる」とじで、のとしてう。「もの」がるは、ややあらたまったやでうのが。(597)

### 【ものとする】

①このことはのをたものとする。②これでがしたものとする。「…となす」「…とする」というをす。(598)

### 【ものともせずに】

⇾【をものともせずに】

### 【ものなら】

1　…ものなら①できるものならをしてみたい。②もしいがかなうものなら、このにあるがほしい。③もしりのことができるものなら、すぐして、のりにちみたい。④こんななどやめられるものならやめてしまいたいが、がいるから、そうはいかない。⑤A：はスキーにかないんですか。B：けるもんならもうっているわよ。しくてどうしてもみがもらえないの。⑥やれるものならやってみろ。するのないことにして、「もししたは」とするのにいる。をうことがい。また、じをくりかえす、にはできないことをする。⑥は、で、にするい。2　V－ようものなら①そんなことをにおうものなら、されるだろう。②そんなをおうものならとなかとわれるだろう。③のにでもしようものなら、のはってしまうだろう。④はがくて、がデートにすこしでもれでもしようものなら、ってってしまう。⑤となりのはわがままで、ちょっとでもしようものなら、できぶ。ややしたのべで、「そのようなことがこったら」というをす。ろには「ながじる」というをけるのが。(598)

### 【ものの】

1　…ものの①は、いもののめずらしいらしく、があってよくれている。②しいをったものの、しくてまだもへっていない。③にこのをやりますとったものの、とてもできそうにない。④のいにをったものの、みのはてばかりだ。⑤のをめるおはあるものの、アイデアがなくてっている。⑥はしたものの、まだほかのはくできていない。⑦でしぶりにへった。のにでもかけてみようとはったものの、しさにまぎれて、つい、そのままにしてしまった。のやのをべて、「だがしかし…」とをけるのにいる。ろには、にべられたことからにされることがこらない、こりそうにないというがく。①は「いかられないはずだがよくれる」の。③の「るといったのにむずかしい」などのったことや、したこと、あるにして、そののにがてない、がむずかしいなどのがくことがい。2　…とはうものの①とはいうもののがつめたく、もまだだ。②はとはいうものの、なかなかごわい。③「のにも」とはうものの、こんなにがきびしくてはやめたくなる。④はだとはいうものの、このはなことばかりだ。「にされることがあてはまらない」ことをす。①は「はふつうならあたたかくのくだが、はそうではない。」の。③のようにことわざなどにけてわれることがい。3　とはいうものの①はだった。とはいうものの、はほとんどしゃべれない。②きのもったし、すっかりのはっているとはいうものの、のがまだつかっていないのがみだ。のことがらからされることとうがくことをす。「それはそうなのだが」「しかし」という。(599)

### 【ものを】

1　…ものを①っていればわからないものを、はついしてしまった。②ならばがをぐはずのものを、そののせいでがぐことになってしまつた。③らせてくれたら、すぐいにったものを、もわないとはみずくさいだ。④がならとなるものを、こののけがですんでよかったといなさい。「のに」とだいたいじだが、①～③のようにわしくないがじたことにしてのをこめていられることがい。2　…すればいいものを①すぐににけばいいものを、がまんしていたから、ひどくなってしまったのだ。②そこできせばいいものを、まっすぐったものだから、にいんでしまった。③そのままげだせばいいものを、うろうろしていたのではにまってしまった。④がにつつまれたときすぐげればよかったものを、ペットをけにったばかりにげれてんでしまった。⑤わたしにしてくれればいいものを、どうして、ひとことってくれなかったんですか。「…すればいにならなかっただろうが、そうしなかったから、よくないになってしまった」というをす。みやのちをこめてうことがい。(600)

### 【もはや】

。「もう」よりもかたい。1　もはや…だ①しまではをつことがのだったが、もはやにのだ。②りにりったがついにりをしてしまった。もはやもこれまでだ。③ののはもはやできないところまでている。④かかというはもはやれだ。これまでのをべてりをつけたり、はもうここまでている、こうなつているということをす。2　もはや…ない①このがれになった、からるものはもはやもない。②からもたっている。もはやではないというもいる。③のスキャンダルがあちこちでうわさになりはじめた。こうなってはもはやのちようがない。④のうそにだまされてきて、もはやだれとしてをじるはなかった。いままでいていたが、これはかないというをす。③は「こんなにうわさががってはもうめるはない」という。(600)

### 【もらう】

⇾【てもらう】